

電子メールを使おう

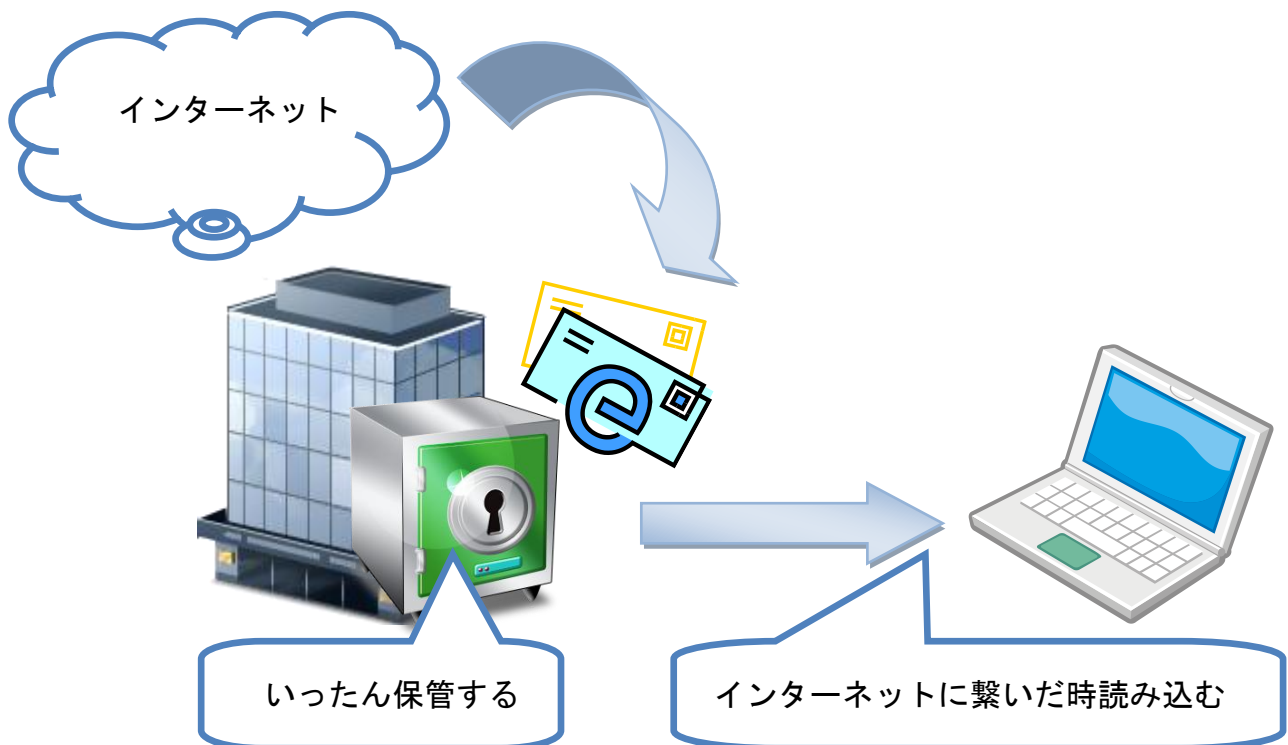
ここで勉強すること

- 様々な電子メールの種類
- 電子メールで注意すべきこと

様々なメールの種類

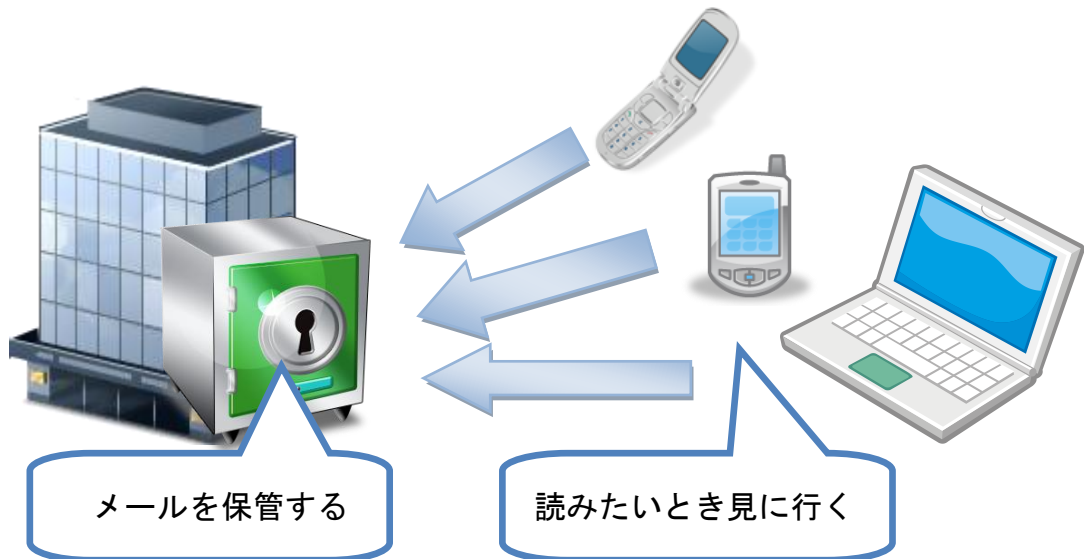
電子メールは、インターネット接続業者などの会社が配布しているメールアドレスを使ってやりとりしています(お使いのメールアドレスの@より右側の文字が、会社のドメインです)。

ふつう、メールはまず、それぞれの会社が持っている保管庫に溜められています。このメールをパソコンのメールソフトで受信することで、パソコンでメールを読めるようにしているのです(このとき、会社の保管庫にあるメールは、何もしない場合は消えてしまいます)。



最近では、パソコンにメールを保存せず、直接保管庫のメールを見に行く形のメールサービスも増えてきました。

この場合、メールアドレスを配布している会社は大量のメールを保管する保管庫を持っており、パソコンや携帯電話で必要な時に保管庫を見に行くこととなります。こうすると、インターネットに繋がっている様々な機器でメールを読むことが可能となります。



その代わりに、パソコンにメールを保存することがないため、例えばパソコンがインターネットに繋がっていないときにメールを読むことが出来ません(最近では、インターネット未接続時でもメールが読めるような仕組みが作られています)。

電子メールで注意すべきこと

メールには、様々な危険なファイルを埋め込むことができます。

まずは、HTML (リッチテキスト) メールと呼ばれるメールです。

HTML メールには文章を装飾したり、画像などを埋め込み出来ますが、ここにパソコンに悪い影響を与える画像を埋め込むことができます。よく知らない人からのメールに含まれる画像はなるべく表示しないようにする必要があります。

また、添付ファイルにも注意が必要です。送り主の名前に見覚えがあった場合であっても、その人がウイルスに感染していたり、メールアドレスが偽装されている可能性があります。文面を見てたしかに本人から送られたメールなのかどうか、そのファイルがその人自身により添付されたものかどうか確認しましょう(たとえば、「ファイルを添付する」旨が全くかかれてないのにファイルが添付されていたり、日本人なのに英語で書かれているなど)。

メールに書かれているインターネットアドレス(URL)にも注意が必要です。特にHTMLメールのURLには、見た目と別のURLを設定出来ます。出来るのであれば、メールのリンクを直接見ずに、同じサイトをインターネットブラウザで開くようにしましょう。